

政策カルテ

1. 政策の位置づけと目標

主管課 | みんなでまちづくり課

政策の柱	持続的発展が可能な都市の自治基盤を確立するために	取組の 基本方向	「市民が主役のまちづくりを推進する」ため、市民・事業者・行政のパートナーシップの充実強化を図る「協働によるまちづくりの推進」、暮らしやすく魅力ある地域の形成を図る「地域主体のまちづくりの推進」、市民の意見をまちづくりにより的確に反映していくための「市民の市政への参画促進」に、重点的に取り組みます。						
政策名	1 市民が主役のまちづくりを推進する								
目標	市民の、まちづくり活動や、市政への積極的な参画によって、本市のまちづくりが進められ、市民が主役となってまちづくりが実践されています。	政策指標 の進捗状況	政策の指標	市民のまちづくり活動や、市政への参画によって、本市のまちづくりが進められていると感じている市民の割合					
政策を取巻く環境	市民の価値観やライフスタイルの多様化、少子高齢化の進行、地域コミュニティ意識の希薄化など、地域社会を取り巻く環境が変化している。地域活動、市民活動、CSR活動などの重要性が高まりつつあることから、活動促進に向けた環境整備、仕組みづくりを推進していくことが必要である。		H19：基準	H20	H21	H22	H23	H24：目標	進捗状況
			29.1%	25.1%				40.0%	62.8%

2. 政策の評価

現状と課題の分析	政策指標の進捗状況は4.0ポイント減少している。各施策においても、施策重要度は50%を超えているものの、満足度については20%前後と低いのが現状である。満足度調査結果において、「協働によるまちづくりの推進」「地域主体のまちづくりの促進」については、「わからない」の回答が40%を超えており、「成果が見える」、「実感できる」ようにすることが各施策に対する市民の理解度・認知度を高める上で最も重要であることから、一人でも多くの市民がまちづくりに関わられるよう、環境の整備、仕組みの充実、情報の共有化等を図っていく。「市民の市政への参画促進」については、これまで以上に市政への関心を高めるため、市民と行政の距離を縮められるよう、市政に参加しやすい環境づくりを図っていく。
----------	--

3. 政策を構成する施策一覧

施策名	施策の達成状況				施策の二次評価	市民の意識		
	施策の指標	H19：基準	H20	H24：目標		進捗状況	満足度	重要度
1 協働によるまちづくりの推進	市民協働による実施事業数	217	230	270	85.2%	協働によるまちづくりの推進には、活動場所の整備、安心して活動できる環境づくり、活動の担い手育成、意識醸成や連帯感の醸成などが重要な要素となる。今後も、協働によるまちづくりを推進するため、市民のまちづくり活動への参加機会の充実、各活動主体のまちづくり活動の活性化、各活動主体の連携促進を図る環境づくりなどに取り組むこと。	17.4%	54.1%
2 地域主体のまちづくりの促進	地域まちづくり計画推進地区数	0	1	39	2.6%	地域の主体的なまちづくりの促進のため、地域活動に対し、事業補助、情報共有化、意識醸成等、さまざまな支援を行ってきた。これまで以上に地域の自主的かつ総合的な活動展開や地域まちづくり支援策の仕組みを地域等との意見交換を通じて構築していくことが重要である。今後は、地域の主体的かつ計画的な活動を展開していくための「地域まちづくり計画」の策定を通じて、コミュニティの活性化、地域への愛着、郷土愛の醸成を図るとともに、財政支援の新たな仕組みを構築することなどにより、地域主体のまちづくり活動を支援すること。	16.1%	54.8%
3 市民の市政への参画促進	宮だよりの中での意見・要望・提案の割合	68	78	80	97.5%	市民の市政への参画を促進するため、さまざまな事業を展開してきた。今後も、これまで以上に市政への関心を高め、市民と行政の距離を縮めるための環境づくりに努めていくことが重要であることから、既存事業の改善をはじめ、コールセンターの設置など、市民ニーズを的確にとらえた新たな事業展開や効率的かつ効果的な市政への参画事業を展開することにより、市民が主役のまちづくりを推進していくこと。	23.5%	64.9%